

特集 みんな笑顔に —子育てしましょう—



「目に入れても痛くない。」
子どものかわいさを表現する時に用
いられる言葉です。
それは、ハイハイしている姿であつ
たり、ご飯を食べる仕草であったり、
とにかくなんでもいいんです。その一
挙手一投足が愛らしく、見ているだけ
で幸せな気分になるのが子どもであ
り、かけがえない家族なのです。
それなのに、毎日のように新聞やテ
レビなどで児童虐待に関するニュース
を目にします。内容は、暴力や育児放
棄などで、その件数は年々増えています。
宝とも言うべき子どもに恵まれて、
より幸せな時間が過ごせるはずの時期
になぜこのようなことが起こるのでし
ょうか？
親であれば誰しも、「しっかりと子
どもを育てなくては。」という思いを
持っています。それがいつしか「失敗
はできない。」と自分を追い込む気持
ちに変わり、やがて「しつけ」と称し
た「暴力」にエスカレートしてしまう
こともあるようです。子育てに悩みは
つきものなのに、「完璧な親」を目指
して孤軍奮闘し、悩みを一人で抱え込
んでしまう。それはどの家庭にも
潜んでいるのではないのでしょうか。
しかし、初めから完璧な親なんてい
ないはず。家事や仕事もある中で
の育児は、イライラしたり、不安にな
るのは当然です。それを家族や友人、
地域の人と共有し、助け合いながら乗
り越えてこそ、子どもと一緒に親も成
長していくのではないのでしょうか。
ここでは、みんな一緒に育ちあい、
笑い声が街に響く、そんな街をめざす
長浜の子育てについて紹介します。

こころをひとつに ～復興へ 長浜のお手伝い～

1000年に一度の大災害をもたらした東日本大震災。その大きな爪痕からの復興には、長い時間とたくさんの支援が必要です。そんな中、震災発生時から多くの皆さんが「こころをひとつ」にして、被災地への支援活動を行っています。その活動の一部を紹介します。



チャンバラフィットネスで元気に！

6月19日～22日の4日間、奥びわ湖スポーツクラブのメンバーが、被災された人々の避難所となっている「ビッグパレットふくしま」を訪れ、炊き出しやチャンバラフィットネス教室を開催するなどの支援活動を行いました。

地域の人から提供を受け、運び込んだ野菜などを使って用意した栄養満点のスープは大好評で、おかわりをする人もいました。また、スポーツをする機会の提供を目的としたチャンバラフィットネス教室に参加した人たちは「楽しかった」、「元気が出た」と喜ばれたそうです。

避難所生活の実情を目の当たりにし、被災者の声に耳を傾け、その辛さを全身で感じ取ったメンバーは、この貴重な経験を胸に被災地の一日も早い復興のため、力を合わせてみんなで頑張っていくことが重要であるとの思いを強くしました。



▲炊き出しの様子

広報 ながはま

平成23年 8月1日号

Contents

- 特集 みんな笑顔に—子育てしましょう— 3～7P
- 子どもたちと新しい長浜市の未来のために 8・9P
- 原子力の安全対策 10P
- 県障害者相談員の紹介など 11P
- 博覧会系のイベント情報など 12・13P
- ほつとにゆ～す 14・15P
- 公共交通・税/職員募集など 16・17P
- 市政の動きなど/みどりいっぱいなど 18・19P
- 健康/座ぶとん会議、市長コラム 20・21P
- 多文化共生、消費生活相談/人権、景観 22・23P
- イベント・教室/文化財 24・25P
- インフォメーション 26P・27P
- 裏表紙 ながはま百景、SMILE 28P

今月の表紙

親子で楽しく竹パンづくり

7月1日（金）、朝日幼稚園の児童と保護者が竹パン作りに挑戦しました。あらかじめ発酵させておいた生地を切り分け、こねて丸めて待つこと10分。ふっくらとひとま



わり大きく膨らんだ生地を竹に巻きつけ、炭火で焼きます。難しい作業はお父さん、お母さんの助けを借りながら一生懸命取り組みました。苦勞して作ったパンの味は格別！料理をすることの大切さを学び、親子で協力することでいっそう絆が深まった一日でした。